

令和7年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	16	学校名(課程)	長野商業高等学校(定時制)
------	----	---------	---------------

1 目 標

- 1 職業現場を見学すること、実際に仕事を体験することを通して職業についての理解を深める
- 2 自己の生き方やあり方について、様々な機会を利用し学習する
- 3 職業選択を行うための課題探究や課題解決の方法等について学習する
- 4 キャリアプランニング能力の育成をはかる

2 現状・課題

- ・卒業してすぐ就職することや、進学先を決めることを望まない生徒が増加傾向にあると思われる
- ・在学中からジョブカフェ信州・サポステ等と連携しており、卒業後も就労移行支援をお願いしている
- ・今後も就労移行支援が必要な生徒が増える傾向にあると思われるので、より安定的な支援体制の構築が課題である

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 社会性の形成
- b コミュニケーション能力の育成
- c 自己肯定感の育成
- d 課題対応能力の育成

4 内 容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 各種講座の受講やSSTにより社会規範やコミュニケーションスキルを身につける (①②)
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 職業について研究し自己の特性を理解することで自己肯定感を醸成する (①②) ウ 職業について理解しその特性を学ぶことを通じて自己の将来設計を進める (③④)
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ アルバイトを通して社会体験を積む中で、社会性を育む (②③④)
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・各教科において繰り返し発表の機会を設けたり、グループ活動を取り入れたりすることにより、基礎的・汎用的能力を伸ばす工夫を取り入れる
総合的な探究の時間	・様々な職業についての研究 ・社会問題の調査・研究 ・自分が必要とする情報を適切に収集できる力をつける
特別活動	・新入生オリエンテーション、新入生ガイダンス ・進路選択や科目選択にかかわる諸活動 ・学校生活における公共マナーの学習活動や基本的生活習慣の励行
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験 キャリア・チャレンジ・プログラム ・進学ガイダンスへの参加
地域や産業界等との連携	・進路についての講演会 ・進路実現に向けての資格取得 ・ハローワーク、ジョブカフェ信州、ながの若者サポートステーション等との連携

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成・提出 ・職場体験振り返りシートの作成(本人・体験先) ・出席状況 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業の実施 ・支援会議の開催 ・プレ支援シートの活用
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の推進に全職員が当たり、生徒とともに研修に努める ・卒業生の社会人を講師とし、求められる人材の研修会を行う
キャリア・パスポートの取組	<p>・総合的な探究の時間、生徒会活動、クラブ活動、生活体験発表、就業体験、保健講話、芸術鑑賞、学年行事などの諸活動における発表・展示・提出物・取得表彰状等の記録保存を行うと同時に、それらの活動を通して得た新知識・感想・考察・疑問点・課題等を日常的に記録かつ整理し、自己の学習状況やキャリア形成を見とおし、振り返りつつ、自身の成長を自己評価する姿勢を培う。</p>

5 学年別指導計画

	1 年	2 年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活への適応をはかり、自己の興味や関心、職業の適性などを把握するように努め、自己理解を深める ○進路希望について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己実現を図るための職業観・勤労観を育成し、自己実現のための過程を研究する ○大学・短大・専門学校の研究や、企業研究を進める
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活の仲間づくり ○高校の学習・生活・将来の自己について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○学部・学科研究や、企業研究をする ○オープンキャンパスへの参加を促す ○未就労生徒について就労体験活動を勧める
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・教員アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・教員アンケート

	3 年	4 年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な大学・学部・学科及び企業名など進路先を検討し、希望進路を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路を実現するために何が必要か、自己を振り返り希望の進路実現をする
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○職業別進路研究をして、様々な職業の特質と勤務状況などを学習する ○オープンキャンパスへの参加、企業訪問及び企業見学をする 	<ul style="list-style-type: none"> ○オープンキャンパスへの参加、企業訪問及び企業見学をする ○進学・就職に適応できる学力・マナーを身につける
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・教員アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査 ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教科	総合的な探究の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1 年	4 家庭科「職業に就く意義や多様化する就業形態」 国語「表現の仕方の学び」 6 保健体育「健康の保持増進」 7 公民「日本の政治機構と政治参加」	オリエンテーション 新聞記事の学習 自己理解 適性への理解	オリエンテーション 清掃活動、クラブ活動	中学校連携 面接 三者面談
	夏 休		キャリアチャレンジプログラム(希望者) 就労体験活動(希望者)	
	9 公民「中小企業と農業」 保健体育「精神の健康」	自己理解 社会理解 進路ガイダンス	生活体験発表 進路面談	就職講話
	1 公民「日本経済の特質と国民生活」 3 春 休	社会理解・発展(調べ学習) 個人研究と発表		生徒意識調査 教員アンケート
2 年	4 国語「対話とは何か」 公民「経済の循環」 5 保健体育「日常生活・運動習慣の改善」 7	オリエンテーション 新聞記事の学習 自己理解 適性への理解	オリエンテーション 清掃活動、クラブ活動	面接 三者面談
	夏 休		キャリアチャレンジプログラム(希望者) 就労体験活動(希望者)	
	9 家庭科「消費行動を考える」 家庭科「ライフステージと経済計画」 12	自己理解 社会理解 進路ガイダンス	生活体験発表 進路面談	就職講話
	1 公民「世界経済の現状と課題」 保健体育「労働災害と健康」 3 春 休	社会理解・発展(調べ学習) 個人研究と発表		生徒意識調査 教員アンケート
3 年	4 国語「論理とは何か」 体育「運動能力の向上」 公民「金融の仕組みと機能」 7 小論文指導	オリエンテーション 新聞記事の学習 自己理解 適性への理解	オリエンテーション 清掃活動、クラブ活動	面接 三者面談
	夏 休		キャリアチャレンジプログラム(希望者) 就労体験活動(希望者) オープンキャンパス(希望者)	
	9 12	自己理解 社会理解 進路ガイダンス	生活体験発表 進路面談	就職講話
	1 3 春 休	社会理解・発展(調べ学習) 個人研究と発表		生徒意識調査 教員アンケート
4 年	4 国語「自己表現力」 体育「体カテスト」 7	オリエンテーション 新聞記事の学習 自己理解 適性への理解	オリエンテーション 清掃活動、クラブ活動	面接 三者面談 就職指導
	夏 休		キャリアチャレンジプログラム(希望者) 就労体験活動(希望者) オープンキャンパス(希望者)	
	9 12	自己理解 社会理解 進路ガイダンス	生活体験発表 進路面談	進学指導 就職講話
	1 3 春 休	社会理解・発展(調べ学習) 個人研究と発表		教員アンケート